

医療費総枠を広げ患者負担軽減を

09・10年度方針、役員等を決定

協会は第45回通常評議員会で、第一号議案「情勢、活動のまとめ、活動方針・重点課題案」、第二号議案「2008年度決算報告案」「監査報告案」、第三号議案「08年度収支差額処理案」、第四号議案「09年度予算案」、第五号議案「理事・監事選出の件」の5議案を賛成多数で可決し、決議案「政治の流れの変化に確信を持ち、国民と共に保険で良い歯科医療の実現をめざそう」、特別決議案「患者・医師から医療を取り上げるレセプトオンライン化に反対する」を採択した。議長に新宅雅文氏、副議長に松倉晴明、平川光彦各氏を選出した。

開会挨拶に立った伊津進弘理事長は、「10年度で歯科医療費は260億円減り、国民医療費に占める割合は7・5%まで低下した。歯科医は週60・2時間にあたり診療時間の

切りつめでしのいでいる。医療費総枠を拡大して患者負担引き下げ、レセプトオンライン義務化反対、指導・監査強化への対応、混合診療拡大阻止、選定療養に反対し保険の利く範囲を広げては

しいという国民の要望にこたえていく」と情勢と協会活動の重点課題を紹介、また、大阪府民の医療・福祉を守ることも協会の重点課題だと述べた。

評議員からは、一号議案について、戸井逸美評議員（大阪市東部地区）が、混合診療、選定療養拡大は公的医療保険の崩壊につながる、「国民が納得いく制度にするため協会がイニシアチブを」

と方針を支持する発言があった。

福西啓八評議員（大阪市西部地区）は、「レセプトオンライン請求義務化先延ばしの可能性」のタイトルが専門誌に出ていたことを紹介し、「協会の訴訟が大きな力になっている」として方針への賛同が表明された。

土田仁評議員（泉州地区準備会）は、歯科受診を促すことと協会運動を知ってもらうことを目的

に協会が作成しているテレビ番組「医療どおしく」を紹介し、予算を確保して放映時間を伸ばしたいとの発言があった。

梁川喜舞評議員（大阪府南部地区）は、医療運動のすすめ方で、映画「シッコ」で紹介されているアメリカ医療の実態をどんどん打ち出して医療崩壊に歯止めをかけるべきだとの発言があった。

二号議案では藤井佐都樹評議員（南河内地区）から、地区予算の使用方法について地区組織の裁量を質す発言が、三号議案では宇治田竜一評議員（大阪市東部地区）から、

各種相談室

専門家がおこたえます

法律相談

【日 時】6月1日(月)午後2時～4時
【相談者】河村武信 弁護士

税務相談

【日 時】6月17日(水)午後2時～5時
【相談者】足田英司 税理士

雇用相談

【日 時】6月18日(木)午後2時～4時
【相談者】堀口正二 社労士

相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。



議案に対して賛成の手を上げる評議員＝16日、M&Dホール

レセプトオンライン請求 「義務化撤回」大阪訴訟第二次提訴 原告団にご参加ください

【締め切り】 5月30日。6月中旬に提訴予定
【参加費用】 原告1人につき収入印紙代等の訴訟費用として、1万3千円の負担をお願いします。それ以上の負担はありません。

オンライン化されれば情報漏えいの危険性を伴い、患者さんから損害賠償を求められる可能性もあります。レセプトはあくまで診療報酬の請求手段で、オンライン請求しか受けつけないのは、まったく道理がありません。

5月末日で締め切る最終提訴に原告として加わり、国が義務化を撤回するよう共に声をあげてください。

申し込みは協会まで(06-6568-7731)
※裁判所以外には、お名前が公表されません

- 評議員会で選出された理事・監事**
- 【理事】安積中(現・平野区)、伊津進弘(現・八尾市)、小澤力(現・西成区)、貴島正彦(現・東大阪市)、小山榮三(現・枚方市)、近藤正(現・池田市)、下井戸昭介(現・堺市)、杉本毅(現・柏原市)、辻本勝(現・城東区)、寺嶋洋幸(現・西成区)、土井英暉(現・東成区)、富本昌之(現・港区)、中村新太郎(現・富田林市)、林哲平(現・淀川区)、早田寿夫(現・住吉区)、兵頭正道(現・高石市)、松本博(現・淀川区)、三井泰正(現・西淀川区)、森啓(現・東住吉区)、矢部あづさ(現・八尾市)、山上紘志(現・堺市)、吉田裕志(現・住之江区)
- 【監事】古田光行(現・城東区)、宮本辰雄(現・東成区)

伊津氏、理事長に5選

第3回臨時理事会

45回評議員会後、同評議員会で選出された理事による臨時理事会で、理事長に伊津進弘氏(5期目)、副理事長に小澤力(2期目)、貴島正彦(11期目)、下井戸昭介(11期目)が選出された。

(11期目)、辻本勝(3期目)、山上紘志(10期目)、吉田裕志(2期目)各氏の6人を選出した。

規約第11条にもとづき理事会で互選した。

(お詫びと訂正)

機関紙4月25日付(1008号)の評議員会・総会議案を、以下のようにご訂正ください。

6面6段目16行目を「資本金10億円以上の企業の経常利益は、2000年の19兆円から07年度決算で32兆円に1・7倍化し」

9面9段目11行目を「原告団は一次で244人となり、神奈川の提訴と合わせて1988人となった」

11面表3下から4段目を「根管内細目」

11面表3下から20段目を「インプラントの難症例鑑別」

過去の経歴から小沢氏の行き詰まりと逃げ出す癖が指摘されたりするが、橋下大阪府知事はその決断を民意を無視できない現在の政治環境を理解しているとし、日本が成熟した社会である事の現れであると評価している。

橋下知事は、テレビのワイドショーを背景に選挙で成功し、少々型破りの発言もテレビの人気者だから「御免」と言えは愛嬌として不問にされるキャラクターを強力な武器として大阪の福祉行政をぶっ壊しつつある。

彼の言う民意とはテレビ受けに他ならず、メディア、プレス、マスコミ、オーストラリアではパイパーなどと呼ばれて、現在時流に乗っている情報産業が物言わぬ庶民とは無関係な第四の権力府を構成し司法、立法、行政を凌駕しつつある現実がベースにある。

これは別に目新しい事ではない。ナチの宣伝相ゲッベルスが当時ラジオで情報を武器とした過去がある。

大阪 保険医新聞

5/25
2009年第1010号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
敬 志岐 会
行 人 志岐 敬
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
大 電 話 (06) 6568-7731 (代表)
http://osk-net.org/
● 定 価 ・ 年 間 10,000円 月 1,000円
● 1977年5月23日第三種郵便物認可

医療機関にかかったことのない国民はいない。レセプトオンライン化がされてから生まれた人は、文字通り生まれてから死ぬまで、あらゆる医療情報が国や保険者(企業)に掌握される。どんな病気にかかり、どの医療機関を受診し、どのようにに診断され、どれだけの期間通院・入院したのか等々が、本人の承諾なしに集約されるのである。情報漏えいばかりではなく、社会的影響は計り知れない。個人には、自らの個人情報データの化を

求がでなくなる事態も想定される。

本来、レセプトは、あくまで医療機関から保険者への医療費の請求書であり、それ以上でも以下

ない。

しかし、オンライン化は、政府・規制改革会議の決定にあるように、レセプトデータの目的外利用が主目的とされている。

「標準」化である。また、各医療機関の診療傾向の把握や全国傾向の把握が瞬時に可能になり、いづれも医師の裁量権と患者や疾患の個別性を無視し、標準化された医療に重大な影響を及ぼす。

患者・医師から医療を取り上げる レセプトオンライン化に反対する

第45回通常評議員会特別決議

私たちは、憤りを禁じえない。例え、レセプトオンライン化がいかなる利便性をもたらすとしても、患者・国民の受ける医療に重大な影響を及ぼす。

2009年5月16日
大阪府歯科保険医協会
第45回通常評議員会

私たちの歯科医師は、患者の医療を受ける権利とプライバシーを守る義務が課せられている。世界に冠たる日本の公的医療保険制度を充実させるためにも、それに反するレセプトオンライン請求に断固反対する。

私たちは、憤りを禁じえない。例え、レセプトオンライン化がいかなる利便性をもたらすとしても、患者・国民の受ける医療に重大な影響を及ぼす。